



あ お ぞ ら

三郷市立南中学校
第1学年 学年通信
平成28年12月9日(金)
第24号

クラス対抗百人一首をやりました

スキー教室では、夜にレクリエーションがあります。1日目の夜は屋外でのレクがあり、2日目は屋内での「クラス対抗五色百人一首大会」です。1日目のレクが「動」とするならば、2日目の百人一首大会は「静」のレクです。その百人一首大会の入退場の練習と、水色グループの対戦を総合学習の時間に行いました。その結果を発表します。

1位 3組 27枚
2位 2組 18枚 3位 1組 16枚
4位 5組 15枚 5位 4組 11枚

今回行ったのは1グループだけですし、選手が当日違うグループになることもあります。だから、今回たくさん獲得した生徒も油断せず、少なかった生徒は当日に向けて特訓しておきましょう。

この百人一首大会で掲げている目的が2点あります。

1. **ルールを守ることの重要性を理解する。**
2. **班やクラスの仲間と教え合うことで、協力することの大切さを学ぶ。**

また、この目的を達成するための行動目標が以下の3点です。

1. **一言も話さずにコンベンションホールへ移動し整列する。**
2. **実行委員の指示で行動する。**
3. **競技中は取るときの「ハイ！」以外しゃべらない。周囲で応援する人も私語はしない。**

今回は、残念ながら移動中おしゃべりする人が少しおり、競技中も全く無言とはいかず、中にはしゃべってしまい9枚も減点された生徒もいました。並び方も初めてなら、学年全体で行うのも初めてだったので、目標通りできないことがあったことは仕方ないかもしれません。本番で成功するための練習での失敗です。スキー教室当日では「一致団結」を目指して、無言で競技しましょう。

「人権」について考えよう

水曜日の5時間目に、学校全体で人権教育が行われました。いじめをテーマにした「悩まずアタック」というDVDを鑑賞しました。みんな静かに真剣に見ることが出来たと思います。DVDを見た後は、その感想を書いてもらったので、その中からひとつ掲載します。

川口美佑さん

いじめはいきなり始まることを知りました。幸子は「バレーが上手で、先輩や、先生から期待されている」というだけで、楽しかった日常がいじめへと変わってしまいました。きっかけはささいな事でも、いじめは大きな傷を心に残します。毎日おびえて生きなきゃいけないのかなと少し思ったけど、友達を信じて生きていけば大丈夫だと思いました。そして、いじめられていた子もいじめをしていたということにびっくりしました。しかし、幸子は覚えていませんでした。いじめを受けた人は一生いじめを忘れません。しかし、いじめをしている人は忘れて生きてしまいます。私はいじめは絶対だめだと思います。そして、いじめで命を絶ってしまう人をニュースでよく見かけますが、その人達を助けてあげたいとニュースを見るたび思います。

自分がいじめていると思っていなくても、相手がいじめられていると感じたら、それはいじめです。今回感じたことを日常生活に活かして、みんなでよりよい学年を作り上げていきましょう。

百人一首大会練習の様子



12月12日(月)	5時間目 木曜6時間目
13日(火)	保護者会
14日(水)	通常授業
15日(木)	専門・中央委員会
16日(金)	生徒集会